



- NEWS RELEASE -

2019年2月4日

各位

【LINE Pay と WeChat Pay 雪まつりで同時導入】 日本・中華圏 双方の観光客へ決済環境を整え、消費拡大狙う

「店舗設置型 QR」QRコード1つで複数ブランド決済対応可能 リージョナルマーケティングと札幌観光協会が協力

サツドラホールディングス株式会社（東証一部 証券コード：3544）のグループ企業である株式会社リージョナルマーケティング（本社：札幌市北区／代表取締役社長兼 CEO 富山 浩樹、以下「RM」という）は、第70回さっぽろ雪まつり（主催：札幌市、一般社団法人札幌観光協会、札幌市教育委員会、札幌商工会議所）大通会場（会期：2019年2月4日～11日）・つどーむ会場（会期：2019年1月31日～11日）において、LINE Pay と WeChat Pay 決済サービスを同時に導入することをお知らせいたします。

さっぽろ雪まつりにおいて LINE Pay 決済サービスの導入は初めて、WeChat Pay 決済サービスの導入は前回に続き2回目。

今回の同時導入は、さっぽろ雪まつり実行委員会事務局を担う一般社団法人札幌観光協会（事務局：札幌市中央区／会長 星野 尚夫、以下「札幌観光協会」という）の協力のもと、大通会場・つどーむ会場約120店舗へ導入。店舗側のオペレーション軽減と同時に決済環境を整えることによって、サービスの向上と消費拡大が狙いです。

また、さっぽろオータムフェスト2018での導入と同様に、店舗に設置したQRコードをお客さまのスマートフォンで読み込む「店舗設置型QR（Printed QR）」による決済方法となります。1つのQRを店舗に設置するだけでLINE PayとWeChat pay 2つの決済ブランドへの対応が可能となり、店舗オペレーション負担を軽減しながら、国内客と訪日客双方への対応が可能となっております。

なお、RMが提供する「店舗設置型QR（Printed QR）」は、ALIPAYの決済サービスにも対応している為、最大3ブランド（LINE Pay/WeChat Pay/ALIPAY）の決済が印刷した1つのQRで導入可能です。

RM と札幌観光協会は、本サービスの導入により、さっぽろ雪まつり会場に来場する国内客と訪日客の決済など、消費データの分析や出店店舗の利用状況を調査し、さらなる札幌市内イベントにおけるキャッシュレス化の推進に向け連携していく方針です。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社 リージョナルマーケティング
カード事業部 小野
TEL : 011-215-1002